

令和3年度社会福祉法人常陽社会福祉事業団事業報告書

令和4年3月31日現在

1 事業の概要

老人福祉法の理念に基づき、急速に進む高齢社会が健全な環境のもとで施設を利用できるように、処遇改善や職員の資質の向上に努めながら、次の事業を行った。

(1) 常陽社会福祉事業団の事業目的

常陽社会福祉事業団は、利用者が個人の尊厳を保持しつつ、心身ともに健やかに育成され、又はその有する能力に応じ自立した日常生活を地域社会において営むことができるよう支援することを目的として、次の事業を行った。

ア 第一種社会福祉事業

- (ア) 養護老人ホーム清風園の経営
- (イ) 養護老人ホーム望峰園の経営
- (ウ) 特別養護老人ホーム白寿園の経営

イ 第二種社会福祉事業

- (ア) 庄内デイサービスセンター（サテライト西岳含む）の経営
- (イ) 横市デイサービスセンターの経営
- (ウ) 老人短期入所事業 白寿園の経営
- (エ) 老人短期入所事業 庄内の里の経営
- (オ) 訪問介護事業 望峰の経営
- (カ) 生計困難者に対する相談支援事業（みやざき安心セーフティネット事業）
- (キ) 小規模多機能型居宅介護創生館の経営

ウ 公益事業

- (ア) 居宅介護支援事業所 ケアプランサービスゆう
- (イ) 特定施設入居者生活介護事業所 清風園
- (ウ) 都城市志和池・庄内・西岳地区地域包括支援センター

(2) 役員等に関する事

現役員・評議員

役職	定数	氏名
理事	6名	馬渡 久続（理事長） 野口 和行、瀧上 澄雄、根井 勝泰、松尾 久丸、日高 覚助
監事	2名	田中 瑞生、恒松 繁雄
評議員	7名	原田 誠一郎、瓦田 節子、大橋 正敏、坂元 和雄、本村 順吉 池脇 隆一、肥後 信行

【評議員会】

令和3年第2回 令和3年6月22日(火) 評議員7名、監事1名	報① 令和2年度事業団会計補正予算(第3号)について ④ 令和2年度事業報告について ⑤ 令和2年度事業団会計決算報告について(監査報告) ⑥ 事業団役員の選任について	承認 可決 可決 可決
令和3年第3回 令和3年9月22日(水) 評議員7名 同意書:評議員7名	<決議の省略> ⑦ 清風園外壁塗装改装工事について ⑧ 令和3年度事業団会計補正予算(第1号)について	可決 可決
令和4年第1回 令和4年3月22日(火) 評議員7名 同意書:評議員7名	<決議の省略> 報① 清風園外壁塗装改装工事入札結果等について 報② 令和3年度事業団会計補正予算(第2号)について ① 令和3年度事業団会計補正予算(第3号)について ② 令和4年度事業団経営方針及び事業計画について ③ 令和4年度事業団会計予算について	承認 承認 可決 可決 可決

【評議員選任・解任委員会】

令和3年6月10日(木) 外部委員1名、監事1名 事務局長1名、理事長1名 事務局員1名	事業団評議員の選任について	可決
---	---------------	----

(4) 内部監事監査に関すること

令和3年5月25日(火)に当法人の監事による令和2年度事業報告及び決算諸表の監査を実施した。

(5) 職員配置状況(令和4年3月31日現在)

(単位:人)

雇用区分	本部	清風園	横市デイ	望峰園	白寿園	ゆう	創生館	庄内デイ	サテ西岳	包括	合計	割合 % (前年度)
第1号職員	1	19	2	10	31	4	6	3	0	5	81	43.1% (37.7%)
第2号職員	1	2	1	3	20	1	2	1	0	0	31	16.5% (21.6%)
第3号職員	0	4	0	2	0	1	1	0	0	0	8	4.3% (5.5%)
第4号職員	1	3	2	11	10	0	0	3	2	2	34	18.1% (18.1%)
第5号職員	0	12	1	3	5	0	2	3	1	0	27	14.3% (14.1%)
第6号職員	0	0	1	2	2	0	1	1	0	0	7	3.7% (3.0%)
合計	3	40	7	31	68	6	12	11	3	7	188	100%

2 本部事務局の実施状況

事務局は業務が円滑に運営できるように次のことを行った。

- (1) 事業団の諸規程を現状に即したものに改正した。
＜改正、制定及び廃止した規程、規則及び要綱＞
「社会福祉法人常陽社会福祉事業団職員就業規則」の改正
「社会福祉法人常陽社会福祉事業団育児・介護休業等取扱規程」の制定
「社会福祉法人常陽社会福祉事業団給与規程」の改正
「社会福祉法人常陽社会福祉事業団経理規程」の改正
「社会福祉法人常陽社会福祉事業団評議員選任・解任委員会運営要綱」の改正
- (2) 職員の処遇改善に努め事業団運営と管理が円滑にできるよう努めた。
- (3) 事業団の計画的かつ効率的な執行を図るため、事業団運営の最高方針及び重要施策の審議並びに各事業所間相互の最終的な総合調整を行うために毎月経営会議を行った。
- (4) 経営会議の円滑かつ適正な運営を図るため、事前に調査又は検討を行い経営会議に付議すべき事案を定めるとともに、各事業所相互の意思疎通を図るための意見交換及び情報交換を行うため毎月運営会議を行った。
- (5) 福祉関係団体等が実施する研修会及び他の施設等が実施する研修に積極的に職員を参加させるとともに施設においても自主研修を実施した。
- (6) 入社式を行った。4/1
- (7) 職員の定期人事異動を行った。4/1
- (8) 職員の定期昇給を行った。4/1
- (9) 令和3年度第1回新任者研修を行った。4/1
- (10) 介護給付費算定に係る体制等の届出及び変更届を宮崎県へ提出する。4/9・4/13
- (11) 令和2年度介護福祉士養成支援事業補助金交付申請を行った。4/14
- (12) 令和3年度介護職員処遇改善加算、介護職員等特定処遇改善加算計画書及び介護職員処遇改善支援補助金計画書を宮崎県及び都城市へ提出した。4/15
- (13) ユースエール認定達成調査提出 4/28・適合事業主確認通知 6/7
- (14) 障害者雇用調整金の申告申請を高齢・障害・求職者雇用支援機構へ行った。4/28
- (15) 軽自動車の減免申請を都城市へ行った。5/7
- (16) 飯田税理士顧問による決算書確認。5/20
- (17) 令和2年度事業団会計監事監査を行った。5/25
- (18) えるぼし認定基準更新申請を行った。5/28
- (19) 理事長交代に伴う手続き（法務局等及び関係各位へ）6/24～7/7
- (20) 福祉医療機構へ「事業報告書」を提出した。6/22
- (21) 令和3年度6・1調査を電子申請により提出した。6/23
- (22) 財務諸表等電子開示システムによる「現況報告書」・「決算書」・「社会福祉充実残額算定シート」を届け出た。6/29
- (23) 退職辞令交付を行った。6/30

- (24) 年金事務所による社会保険調査が行われ指摘は無かった。6/30
- (25) 承認社会福祉充実計画終了承認申請書を提出した。7/1
- (26) 都城税務署へ公益法人等損益計算書等を提出した。7/5
- (27) みやざき女性・高齢者人材バンクへ登録した。7/5
- (28) 高校内進路ガイダンス（都城農業高等学校）へ参加した。7/8
- (29) 令和3年度職員採用試験周知を開始した。7/20

申込期間（高校生）9/6～9/15、採用試験9/18、合格発表（高校生9/24・一般10/1）

- (30) 令和3年度老人福祉施設等施設整備費補助金交付申請書を宮崎県に提出した。7/20
- (31) 令和2年度介護職員処遇改善加算及び介護職員等特定処遇改善加算実績報告書を宮崎県及び都城市へ提出した。7/29
- (32) 退職辞令交付を行った。7/31
- (33) 新規採用辞令交付を行った。8/1
- (34) 顧問弁護士と令和3年9月1日からの顧問契約を締結した。7/27
- (35) 介護保険事業変更届（令和3年8月1日からの庄内デイの定員変更）を提出8/6
- (36) 退職辞令交付を行った。8/31
- (37) 令和3年度老人福祉施設等施設整備費補助金交付決定通知を受領した。8/27
- (38) 清風園外壁塗装改装工事入札指名通知9/22、現場説明会9/28、郵便入札到着〆切10/7、開札10/8、精査し落札業者の決定10/13、契約（株九都防水工業）10/15
- (39) 新規採用辞令交付を行った。10/1
- (40) 第三次産業労働災害防止研修会に参加した。10/14
- (41) 令和3年度都城障害者ふれあい面接会に参加した。10/20
- (42) 令和3年度介護の就職説明会（シニア世代）に参加した。10/22
- (43) 都城市による指導監査が行われた。11/10
- (44) 地域包括支援センターに関する意見交換会を市内7包括で行った。11/22
- (45) 退職辞令交付を行った。11/30
- (46) 全職員に対し職員勤務評定を行った。12/1
- (47) 令和3年度老人福祉施設等施設整備費補助金進捗状況報告書を提出した。12/24
- (48) 宮崎労働局主催「改正育児介護休業法等に関する説明会に参加した。1/13
- (49) 全職員から自己申告書を提出させ意向等を伺った。1/14
- (50) 令和3年度職員内部登用試験を行った。

周知2/1～2/14、申込期間2/7～2/14、試験2/19、合格発表2/28

- (51) 人材派遣会社（株）スタッフサービスと契約を締結した。2/17
- (52) 退職辞令交付を行った。2/28
- (53) 新規採用辞令交付を行った。3/1
- (54) 求人広告サイト（株）リジョブと契約を締結した。3/2
- (55) 令和3年度福祉のしごと就職説明会に参加した。3/9
- (56) 2022年みやざき春のオンライン就職応援フェアに参加した。
- (57) 定年退職辞令交付・退職辞令交付を行った。3/31

3 新型コロナウイルス感染症関連

(1) 新型コロナウイルス感染症の発生について

<望峰園>

- 1/27 (木) 職員 A 家族が陽性と判明。職員 A は抗原検査では陰性との報告
職員 A と濃厚接触の疑いのある入居者 2 名を隔離し、職員 11 名と合わせて抗原検査を実施し全員の陰性を確認。
- 1/29 (土) 職員 A が陽性と判明し都城市・宮崎県へ報告。
保健所からゾーニングの指示あり実施する。
- 1/30 (日) 入居者 49 名及び職員 28 名分の PCR 検査の検体採取し保健所へ提出
- 1/31 (月) 入居者及び職員全員の陰性が確認される。
- 2/3 (木) 24:00 ゾーニング解除。

<清風園>

- 2/11 (金) 職員 B が陽性と判明、忌引中であり入居者及び職員との接触無し
- 3/28 (月) 職員 C の家族が陽性と判明、直ぐ退社し嘱託医（瀬之口医院）受診。
抗原検査を実施し陰性確認。同居家族のため出勤停止とし様子観察。
都城市へ報告。ゾーニング対応 4/4 まで行った。
- 3/29 (火) 宮崎県へ報告。保健所より職員 C の PCR 検査指示あり。
3/27 出勤した職員 10 名 PCR 検査陰性確認。
- 3/30 (水) 職員 C の陽性判明。市・県・嘱託医、保健所へ報告。
- 3/31 (木) 入居者 67 名及び職員 39 名分の PCR 検査の検体採取し保健所へ提出
し全員陰性が確認された。

(2) 法人の対応

- ア 陽性となった職員は就業規則に則り特別休暇を付与するとともに、濃厚接触者にも特別休暇を付与した。
- イ 変異ウィルスの感染拡大「第 4 波」の状況下における感染症予防対策の再徹底継続の通知を 4/27 に発出した。
 - (ア) 県外との往来は原則控えてください。
 - (イ) 会食は 4 人以下、2 時間以内で
 - (ウ) 健康状態に留意し、出勤前の検温の徹底と発熱等の症状が認められるときは出勤しない・させない。(かかりつけ医等の積極的な受診)
 - (エ) 感染警戒区域の期間中は面会制限し、ガラス越しやオンラインでの面会対応
- ウ 宮崎県緊急事態宣言が発出されたことに伴い、感染症予防対策の再徹底継続の通知を 5/27 に発出した。
 - 職員は高齢者施設に従事する者として気を引き締め同居者、家族の協力・理解を貰い「ウィルスを持ち込まない」感染症予防対策に取り組んでください。
- エ 第 6 回事業団感染防止対策委員会を 7/9 に開催し、入居者・利用者・職員が 2 回目のワクチン接種後の取り扱いについて統一した対応をとった。
 - (ア) 緊急事態宣言及びまん延防止宣言の出ている地域以外への移動に対し事前届

出は不要とする。様子観察期間は設けないが個人での体調管理をしっかりと行うこと。

(イ) 緊急事態宣言及びまん延防止宣言の出ている地域への移動に対し事前届出は要する。個人での体調管理及び観察記録はしっかり行うこと。

(ウ) 基本対策（マスク着用、検温、手指消毒、3密を避ける等）を徹底した上で面会は可とする。

オ 宮崎県独自の緊急事態宣言が発令、県全域が感染圏域（赤圏域）に指定され、面会制限要請期間が延長された際に、感染症予防対策の再徹底継続の通知を 8/24 に発出した

(ア) 利用者及び施設職員については、通院、通勤、日常の買い物、健康維持のための散歩などの生活に必要な外出以外は控えてください。

(イ) 会食等の必要性については、慎重に判断をお願いします。

カ 緊急事態宣言が延長され面会制限要請期間も延長となり、感染症予防対策の再徹底継続の通知を 9/28 に発出した。

キ 宮崎県でオミクロン株疑いの感染者が初めて確認された状況において、「新型コロナウイルス感染予防対策の徹底について（お願い）」文書を 1/7 に発出した。

ク 宮崎県より都城・北諸圏域は感染急増区域（赤圏域）に指定された事に伴い、新たに要請を行った。1/25

(ア) 入所等施設では、面会制限（緊急やむを得ない場合を除き対面での面会を制限。ガラス越しやオンラインでの面会等の対応を要請）。

(イ) 利用者及び施設職員には、ウィルスを持ち込まない。混雑した場所や感染リスクの高い場所への外出・移動の自粛、圏域外への不要不急の外出・移動の自粛を要請した。

(ウ) 会食は一卓4人以下、2時間以内で家族などいつも一緒にいる身近な人と。

ケ 第6波における入所施設での対応協議を行い、各事業所の衛生用品等の在庫状況の確認し、意見交換を行い法人としての協力体制があることを確認した。1/27

コ 望峰園職員の陽性が判明したことに伴い、第1回緊急対策会議を 1/30（日）に実施し、経過報告及び応援体制について協議した。

サ 望峰園のゾーニング対応について気付きと改善点等各事業所への情報共有を行った。2/22

シ 県「まん延防止等重点措置」区域の指定は解除されたが、新たに感染急増圏域（赤圏域）に指定され面会制限要請期間も延長となった際に、新たに感染症予防対策の再徹底継続の通知を 3/22 に発出した。

(ア) 職員が感染源とならない様に。（持ち込まない、拡げない、持ち出さない）

(イ) 同居者の発熱等の健康状態にも気を付けてください。（同居家族の発熱等がある場合は出勤を控えてもらい、PCR 検査の結果をもって判断を行ってください。

(ウ) 子供さんの通う教育施設等でクラスター発生が多発していますので、速やかに情報をキャッチしてください。

4 補助金関連

- (1) 令和3年度宮崎県地域医療介護総合確保基金事業費補助金 540,000円
補助事業所 : 養護老人ホーム望峰園
購入備品 : オゾンエアクリア eZ-100 1台
総事業費 : 594,000円 (うち補助金額 540,000円)
自己資金 : 54,000円
- (2) 令和3年度老人福祉施設等施設整備費補助金 20,400,000円
事業名 : 養護老人ホーム清風園外壁塗装改装工事
工期 : 令和3年10月15日 ~ 令和4年2月28日
設計監理業者 : 黒岩建築設計株式会社
施工業者 : 株式会社 九都防水工業
総事業費 : 31,240,000円 (うち補助金額 20,400,000円)
自己資金 : 10,840,000円

1 事業概要

入居者がその有する能力に応じて自立した日常生活を営むことができるように努め、入居者の人格及び意思を尊重し、一人ひとりのニーズに応じた処遇計画を策定し、その計画に基づき自立のために必要な相談および支援を行った。

また、入居者が要介護状態になった場合でも適切な介護サービスを提供し、安心・安全な日常生活を営めるよう努めた。

そして、地域の関係団体等と連携を図り、地域における住民福祉のセンター的役割を果たせるよう施設機能の地域社会貢献に努めた。

(1) 生活相談・支援

ア 入居者の心身の状況、その置かれている環境等の的確な把握に努め、入居者および家族に対して適切な相談・助言を行うとともに必要な支援を行った。

イ 入居者がお互いに労わり合い、思いやりのある人間関係のもとに、楽しく充実した生活を送れるよう支援した。

ウ 「自分で出来る事は自分でする」ことを生活の基本に、入居者の適性に応じたクラブ・行事等への参加を促し、融和を図りながら生き甲斐づくりの活動支援を行った。

(2) 健康管理

ア 毎朝、ラジオ体操・棒体操を実施し、レクリエーション・スカットボール等を定期的実施することにより健康の維持増進に努めた。

イ 週1回の内科嘱託医と月1回の精神科医の回診により、疾病の早期発見・早期治療に努めるとともに、定期的に体重・血圧測定を行い、年2回の定期健康診断を実施した。

ウ 新型コロナウイルス感染症発生防止の為、県、市の要請及び生活圏域の感染状況により面会、外出を制限した。

また「高齢者介護施設における感染対策マニュアル」に従い感染委員会、職員研修を適時開催し予防策の周知、情報を共有し感染予防対策の徹底を行った。

(3) 入居者の処遇

ア 入居者の身体状況・精神状況・社会環境を把握し、本人や家族のニーズに対応できる処遇計画を策定し、実践・評価・改善を図り自立支援に向けた処遇に努めた。

イ ケアプランに基づき、必要に応じて、適切かつ円滑な介護サービスが提供できるよう努めた。

ウ 給食は、嗜好調査や給食検討会をもとに、入居者の嗜好と栄養のバランスに配慮した献立を作成するとともに、安全で季節感のある食材の確保を心掛け、より良い食事の提供に努めた。

(4) 地域社会との交流

ア 清風園においては一人暮らし高齢者に対して食の自立支援事業（配食サービス）を行い、食を通じて在宅高齢者の生活援助に努めた。

イ 地域福祉のセンター的役割を果たすため、横市地区まちづくり協議会等への参加に努めた。

(5) 職員の資質向上

ア 施設内・施設外研修を計画的に実施し、職種別研修会・講習会等へ積極的に参加した。

イ 朝礼・職員会議・事業所会議によって職種間の意思統一と共通理解に努めた。

(6) 防災・防犯対策

ア 緊急有事の際には、入居者の安全かつ迅速な避難救出を第一として、防災教育ならびに避難誘導訓練の実施、消防防災設備の点検、消火器の位置確認及び操作訓練を計画的に実施した。

イ 消防署の協力を得て総合防災訓練を実施し、自衛消防隊の円滑な活動ができるように努めた。

(7) 施設・環境整備

ア 空調設備の老朽化に伴い、計画的に中央集中管理方式から個別空調方式に更新するため、本年度（第四期）は二階居室等を施工した。また、県老人福祉施設等施設整備補助金の交付を受け外壁塗装改装工事を行った。

イ 居室清掃をはじめ、業者や職員により園庭や樹木の整備と美化を図り、生活しやすい屋内外の環境づくりに努めた。

2 事業実施状況

毎週火曜日 瀬之口 Dr 診察（内科） 毎月第4月曜日 森 Dr 診察（精神科）

4月 7日 習字（毎月）

8日 避難訓練（毎月）

9日 県南ブロック養護老人ホーム 施設長・相談員会議（高崎）

12日 床ワックス16日まで（ダスキン）

13日 事業所会議（毎月第2木曜日）検便（調理職毎月、処遇職員隔月）

14日 買い物日（毎月二回）

15日 誕生会（毎月第2木曜日）

18日 生け花（毎月）園内除草（25日・シニア元気クラブ）

19日 散髪（毎月）利用者健康診査（5月中旬まで）

20日 課長会議（毎月）、墓地清掃（毎月）

21日 スカットボール（毎月）

22日 喫茶コーナー（毎月）、施設内研修（年6回）

23日 利用者機能訓練（毎月）

25日 カレンダー作製（毎月）

26日 栄養管理委員会（毎月）、感染委員会（コロナ対応）

27日 経営会議（毎月）

30日 利用者との話し合い（毎月第4金曜日）、あそびクラブ（毎月）

※レクリエーションはコロナ感染状況に応じて講師・職員で対応する。

5月 9日 県コロナ緊急事態宣言発令6/2まで

10日 感染委員会（宮崎県緊急事態宣言発出）

13日 新型コロナ感染症研修（保健所）

20日 園内剪定（島田造園）

- 5月24日 第4期清風園空調設備更新工事 6/23 まで
 27日 福祉職員スタートアップ研修
 30日 園内除草（シニア元気クラブ）
- 6月 2日 感染委員会（コロナ）
 7日 職員・入居者1回目コロナワクチン接種 23 日まで
 14日 横市地区健康福祉部会
 16日 空調フィルター清掃（九南）
 24日 施設内研修（食中毒まん延防止・介護職による福祉用具使用講習）
 25日 昼食選択食 園内除草（シニア元気クラブ）
 28日 職員・入居者2回目コロナワクチン接種 7/14 日まで
- 7月 7日 公用車納車（軽自動車）
 9日 事業団感染防止対策委員会
 11日 園内除草（シニア元気クラブ）
 13日 お楽しみ会（夏祭り代替え）
 14日 墓地清掃
 29日 清風園お楽しみ会（夏祭り代替え）
 30日 感染委員会（コロナ）
- 8月 4日 コロナ感染拡大緊急警報発令 8/24 まで
 5日 消防設備点検（年2回）
 10日 お盆法要（願心寺）、横市地区健康福祉部会
 11日 コロナ緊急事態宣言 8/31 まで
 13日 お盆迎え日 16日・お盆送り日
 21日 園内除草（シニア元気クラブ）
 23日 ICT・WEB研修（あいおい生命主催）
 25日 感染委員会（コロナ）
 26日 清風園玄関外構工事、施設内研修（介護事故防止・身体拘束）
 27日 コロナまん延防止等重点措置 9/30 まで
 29日 園内除草（シニア元気クラブ）
- 9月10日 県南ブロック養護老人ホーム施設長・相談員 WEB 会議
 13日 感染委員会（コロナ）
 16日 清風園敬老会、都城ロータリークラブより花苗、プランター寄贈
 27日 ICT・WEB研修（宮崎県老施協主催）、浄化槽法定検査
- 10月 8日 食堂カーテン・レール交換（業者）
 11日 横市地区まちづくり協議会
 12日 感染委員会（コロナ）
 13日 芋ほりレクレーション
 14日 清風園さわやかスポーツ大会
 18日 床ワックス 21 日まで（ダスキン）
 19日 利用者インフルエンザ予防接種
 22日 総合防災訓練（消防立会い）

- 10月25日 衆議院議員選挙期日前投票 7名
- 26日 職員インフルエンザ予防接種、清風園外壁塗装改装工事 2/28 まで
- 31日 横市地区まちづくり協議会より花苗寄贈

- 11月 5日 誕生会・バーベキュー大会
- 9日 感染委員会 (コロナ)
- 17日 感染症対策研修会 (保健所)
- 23日 喫茶 (クリスマスケーキ作り)
- 24日 建築・設備点検 (九南、黒岩設計)
- 25日 施設内研修 (感染症対策・虐待防止・認知症)
園内除草 (シニア元気クラブ)

- 12月 2日 餅つき
- 9日 誕生会・忘年会
- 11日 都城西高校ボランティア (外回り除草)
- 14日 感染委員会 (コロナ)
- 16日 門松づくり
- 17日 空調点検清掃 (九南)
- 28日 園舎内漏水発覚 (バルブ5ヶ所交換)

令和4年

- 1月 5日 初詣
- 7日 施設長、相談員会議
- 13日 誕生会 (握り寿司)、感染拡大緊急警報 2/2 まで
- 18日 市議会議員期日前投票3名、植木消毒追肥 (島田造園)
- 21日 まん延防止等重点措置 3/6 まで
- 27日 感染委員会 (コロナ)
- 30日 事業団緊急感染委員会
- 31日 職員・入居者3回目コロナワクチン接種 2/14 まで

- 2月 3日 節分
- 9日 感染委員会 (コロナ)
- 24日 施設内研修 (リスクマネジメント・精神障がい)
- 28日 外壁塗装改装工事完成検査

- 3月10日 事業団感染対策防止委員会
職員コロナ陽性疑いにて感染警戒態勢 (ゾーニング) をとる 3/12 まで
- 17日 感染委員会 (コロナ感染対策)
- 25日 彼岸法要 (攝護寺)
- 28日 職員1名コロナ陽性にて午後よりゾーニング対応 4/4 まで
保健所指示にて全職員、全利用者 PCR 検査を行い全員陰性

3 職員の状況

令和4年3.31現在

施設長 1(0)	嘱託医 2(2)	副施設長兼相談員 1(0)	相談員 2(0)	主任支援員 1(0)	介護支援専門員 1(0)	相談員兼務
支援員兼介護員 21(6)	看護職員 3(1)	栄養士 1(0)	調理員 8(5)	事務職 2	計 42(14)	

()内は非常勤職員を再掲

4 月別入居者入退居の状況

令和4年4.31現在

	入 居			退 居			月末現在		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
令和2年 4月	1	0	1	0	1	1	13	57	70
5月	0	0	0	0	1	1	13	57	70
6月	0	1	1	0	0	0	13	57	70
7月	0	0	0	0	0	0	13	57	70
8月	0	0	0	0	0	0	13	57	70
9月	0	0	0	1	1	2	12	56	68
10月	1	1	2	1	0	1	12	57	69
11月	0	2	2	1	0	1	11	59	70
12月	0	0	0	0	0	0	11	59	70
令和3年 1月	0	0	0	0	0	0	11	59	70
2月	0	0	0	0	0	0	11	59	70
3月	0	0	0	0	1	1	11	58	69
合計	2	4	6	3	4	7	144	692	836

*退居者の状況

退居後の居所	病 院	1
	特別養護老人ホーム	3
	介護付有料老人ホーム	0
	死亡	2
	自宅	1
合 計	7	

*入所者の状況

入居所前の	家庭	5
	病院(精神)	1
	養護老人ホーム	0
	介護付有料老人ホーム	0
	合 計	6

5 年齢階層別調

令和4年3.31現在

	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95～99歳	100歳～	合計	平均年齢
男 性		2	3	1	1	3	1	0	0	11	76歳4月
女 性		0	5	7	11	13	14	6	2	58	85歳5月
合 計	0	2	8	8	12	16	15	6	2	69	84歳2月

6 在居期間

令和4年3.31現在

期 間	男	女	計
1年未満	2	4	6
1～5年	5	24	29
5～10年	3	20	23
10年以上	1	10	11
合 計	11	58	69

7 要介護度の状況

令和4年3.31現在

要介護度	男	女	計
自立・要支援	8	31	39
要介護1	1	2	3
要介護2	1	9	10
要介護3	1	9	10
要介護4	0	7	7
要介護5	0	0	0
合 計	11	58	69

8 食の自立支援事業

	利用者数	配食数
令和3年 4月	25	400
5月	24	425
6月	23	413
7月	22	413
8月	21	368
9月	21	413
10月	21	410
11月	21	412
12月	20	366
令和4年 1月	19	307
2月	18	340
3月	16	278
合計	251	4,545

※前年度

利用者数	配食数
19	296
19	358
19	342
18	381
18	337
19	325
21	354
21	350
20	365
20	362
21	343
21	427
236	4,240

* 食事の調理が困難な高齢者に対して、事前計画に基づいて定期的に居宅に訪問して栄養バランスの取れた食事を提供するとともに、利用者の安否確認を実施する。

養護老人ホーム望峰園の概況

1 事業概要

入居者の自主性を尊重して生きがいを持ち安心して生活できるように、処遇の充実及び施設環境の改善・整備に努める事を基本方針とした。支援および介護の対応を図るために次の事業を実施した。

(1) 生活相談・支援

ア 入居者が相互に思いやりある人間関係の形成により、穏やかに安定した生活が送れる相談支援に努めた。

イ 入居者のニーズや特性を把握して各自に応じたクラブ、行事等への参加を促して張り合いある生活の維持に努めた。

(2) 健康管理

ア ラジオ体操・棒体操のほか、園庭散歩・グラウンドゴルフ等のレクリエーション実施にて運動機会の保持増進に努めた。嘱託医との連携による定期健康診断にて疾病の早期発見・早期治療のほか、毎月の血圧、体重測定を実施し入居者の健康管理に努めた。

ウ 身体管理の励行及び衛生管理を援助した。新型コロナウイルス感染防止対策として入居者のマスク着用、手指消毒を実施のうえ、家族への面会制限を周知して入居者ならび職員の感染防止対策に努めた。

(3) 入居者の処遇

ア 入居者の身体状況、精神状況を把握し、ニーズに対応できる処遇計画を策定し職種間の共通理解の下に適切な支援を行った。

イ 介護保険サービス利用者に対しては職種間の連携体制を整え適切なサービスの提供に努めた。

ウ 嗜好と栄養面を考慮した献立によりバランスのとれた食事を提供した。さらに行事食を適宜実施して、食生活への季節感の取り組みに努めた。

エ 毎月の誕生会や季節の行事等の実施により活動的で質の高い生活を提供できるように努めた。新型コロナウイルス感染防止対策のため行事計画の一部変更を行う際に入居者の生きがい活動の向上に配慮した内容に努めた。

(4) 地域社会との交流

感染防止の観点から、地域・ボランティアとの交流を控えた。

(5) 職員の資質向上

職員の意識及び処遇技術の向上を図るため、各種研修会等に参加した。職場内研修を実施するほか事業団事例研究発表を行い職員の資質向上に努めた。

(6) 災害発生時の避難・救出訓練

定期的な消火設備の点検を行うと共に、毎月の避難訓練と年2回の総合防災訓練を実施して、災害発生時に円滑な対処ができるように備えた。

(7) 施設・環境整備

ア 居室内外の定期的な清掃の他、樹木の剪定や害虫駆除によって年間を通じて園庭の美化を図り、毎日の生活がおだやかな環境を維持できるように努めた。

イ 入居者の自発的な除草や清掃作業等によって、園内外の美化整備を行った。

2 実施状況

令和3年

- 4月1日 血圧・体重測定(毎月)、身長測定(年2回)、預金日、出張販売(毎週木曜日)
事業所会議・安全・感染委員会(毎月)
- 4月5日 内科回診(毎週月曜日)、介護研修会(2ヶ月に1回開催)
- 4月6日 観桜会(園庭)、夜勤従事職員健診(4/6・7・13・14・20・21・27・28)
- 4月7日 生花クラブ(毎月)、散髪、
- 4月9日 県南ブロック施設長相談員合同会議
- 4月13日 誕生会、検便(調理)
- 4月15日 喫茶
- 4月20日 園内グランドゴルフ大会、運営会議(毎月)
- 4月22日 避難訓練、利用者集会、カラオケクラブ(毎月)
- 4月27日 血圧・体重測定
- 5月3日 行事食(5/3~5/5)
- 5月9日 母の日(行事食)
- 5月11日 誕生会、事業所会議・安全委員会・感染委員会、検便(支援員・調理員)
- 5月13日 生花クラブ
- 5月25日 利用者健康診断(5/25・26・27・28)、カラオケクラブ
- 5月28日 避難訓練、利用者集会
- 5月31日 コロナウイルスワクチン接種(1回目/1組目)
- 6月1日 血圧・体重測定、
- 6月3日 事業所会議・安全委員会・感染委員会
- 6月7日 コロナワクチン接種(1回目/2組目)
- 6月8日 誕生会
- 6月10日 散髪
- 6月14日 床ワックス(6/14・15・16)
- 6月16日 選択食(鰻井・親子井・牛井)
- 6月17日 生花クラブ
- 6月21日 コロナウイルスワクチン接種(2回目/1組目)
- 6月24日 避難訓練、利用者集会、カラオケクラブ
- 6月28日 コロナウイルスワクチン接種(2回目/2組目)
- 7月1日 血圧・体重測定、事業所会議・安全委員会・感染委員会
- 7月6日 誕生会
- 7月8日 散髪、屋内外清掃
- 7月9日 生花クラブ、散髪、県社協研修(管理職員)
- 7月13日 カラオケクラブ、検便(支援員・調理員)
- 7月15日 望峰園夏祭り
- 7月20日 生花クラブ
- 7月27日 喫茶
- 7月29日 避難訓練、利用者集会
- 8月2日 介護研修会
- 8月3日 血圧体重測定、事業所会議・安全委員会・感染委員会
- 8月6日 七夕飾りつけ
- 8月10日 誕生会
- 8月13日 盆迎え火、行事食(盆精進料理 8/13~8/15)
- 8月16日 マットレス洗浄乾燥(8/16・19・23・26・30・9/1・6・9)

8月24日 カラオケクラブ
8月26日 避難訓練、利用者集会
9月2日 総合避難訓練、消防設備点検
9月7日 血圧・体重測定、散髪
9月9日 令和3年度敬老会・誕生会
9月14日 喫茶
9月17日 散髪、カラオケクラブ
9月21日 生花クラブ
9月28日 カラオケクラブ
9月30日 避難訓練・利用者集会
10月4日 介護研修会
10月5日 血圧・体重・身長測定、事業所会議・安全委員会・感染委員会
10月7日 誕生会利用者インフルエンザ予防接種(10/5・10/12・10/19)、
10月6日 生花クラブ、事業所会議・安全委員会・感染委員会、検便(調理)
10月13日 選択食(麺)
10月14日 散髪
10月21日 令和3年度望峰園健康運動会
10月25日 床ワックス(10/25・26)
10月26日 カラオケクラブ
10月28日 避難訓練、利用者集会
11月1日 インフルエンザワクチン予防接種(1組目)
11月5日 望峰園グランドゴルフ大会
11月4日 誕生会、血圧・体重測定、事業所会議・安全委員会・感染委員会
11月8日 インフルエンザワクチン予防接種(2組目)
11月9日 生花クラブ、散髪
11月11日 散髪屋内ゲーム大会(スカットボール)
11月15日 インフルエンザワクチン予防接種(3組目)
11月17日 利用者健康診断(11/16・17・19・22)
11月18日 カラオケクラブ
11月30日 避難訓練、利用者集会
12月2日 血圧・体重測定、事業所会議・安全委員会・感染委員会
12月2日 介護研修会
12月7日 忘年会・誕生会
12月9日 生花クラブ、散髪
12月14日 大掃除
12月16日 もちつき
12月21日 カラオケクラブ
12月23日 喫茶、冬物衣料品支給
12月28日 避難訓練、利用者集会、
令和4年
1月1日 行事食(おせち料理 1/1~1/3)
1月4日 血圧・体重測定、事業所会議・安全委員会・感染委員会
1月6日 新年会・誕生会
1月7日 行事食(七草粥)
1月11日 初詣(神柱宮 車中参拝)
1月13日 散髪

- 1月18日 生花クラブ
- 1月18日 園庭植栽剪定
- 1月27日 避難訓練、利用者集会
- 2月1日 血圧体重測定・事業所会議・安全感染委員会
- 2月7日 コロナワクチン接種(3回目/1組目)
- 2月8日 誕生会
- 2月10日 生花クラブ、散髪
- 2月14日 コロナウイルスワクチン接種(3回目/2組目)
- 2月15日 喫茶(手作り菓子)
- 2月17日 カラオケクラブ
- 2月24日 避難訓練、利用者集会
- 3月1日 血圧体重測定、事業所会議・安全委員会・感染委員会
- 3月3日 総合防災訓練、防火設備点検、行事食(ひなまつり)
- 3月8日 誕生会
- 3月10日 散髪
- 3月15日 納骨堂清掃、生花クラブ、散髪
- 3月17日 彼岸の設え
- 3月22日 彼岸法要(西本願寺動画視聴)
- 3月29日 カラオケクラブ
- 3月31日 利用者集会

3. 職員の状況

令和4年3月31日 現在

施設長	副施設長兼 主任生活相談員	相談員	事務員	看護職員	栄養士
1	1	1	1	2	1
調理員	主任支援員	サービス 提供責任者	支援員兼 訪問介護員	嘱託医	計
8(5)	1	1	15	1(1)	33(6)

() は非常勤職員再掲

4. 月別入所者入退所状況

月	入 所			退 所			月末現在		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
4	0	0	0	0	0	0	9	41	50
5	0	1	1	0	1	1	9	41	50
6	0	1	1	0	1	1	9	41	50
7	1	0	1	0	1	1	10	40	50
8	0	0	0	0	0	0	10	40	50
9	0	0	0	0	0	0	10	40	50
10	0	0	0	0	1	1	10	39	49
11	0	1	1	0	1	1	10	39	49
12	0	0	0	0	0	0	10	39	49
1	0	1	1	0	0	0	10	40	50
2	0	0	0	0	0	0	10	40	50
3	0	0	0	0	1	1	10	39	49
合計	1	4	5	0	6	6			

退所後の状況 (令和3年度)

退 所 後 の 状 況	在 宅	1
	医療機関	1
	他の養護老人ホーム	0
	特別養護老人ホーム	2
	老人保健施設	0
	死 亡	2
	その他	0
合 計		6

5. 年齢階層別調

令和4年3月31日 現在

年齢	64～	70～	75～	80～	85～	90～	95～	計	平均 年齢
性別	69歳	74歳	79歳	84歳	89歳	94歳	以上		
男	0	2	4	2	2	0	0	10	79歳2月
女	1	0	7	9	9	6	7	39	87歳0月
計	1	2	11	11	11	6	7	49	85歳5月

6. 在所期間 令和4年3月31日 現在

期 間	男	女	計
1年未満	1	4	5
1～5年	4	17	21
5～10年	3	8	11
10～20年	2	9	11
20年以上	0	1	1
合 計	10	39	49

7. 要介護度の状況 令和4年3月31日 現在

要介護度	男	女	計
要介護 1	0	0	0
要介護 2	0	1	1
要介護 3	0	4	4
要介護 4	1	3	4
要介護 5	0	1	1
合 計	1	9	10

特別養護老人ホーム白寿園の概要

1. 事業概要

介護保険制度の目的は、施設の入居者、在宅の利用者の区別なく、全ての入居者に質の高いサービスを安定的に提供することであることを全職員が認識し、介護保険法に基づく「介護老人福祉施設」として介護サービスの向上に努めた。

入居者にとっては自宅に変わる生活の場であるため、生活空間を大切とした個室ユニットケアを推進し、毎日の生活が安心して、明るい気持ちで過ごせるよう、ケアプランに基づいた適切で真心のこもった介護を行うと共に、残存機能の維持を図ることに力を注いだ。

(1) 施設・環境の整備

ア 入居者が安全・安心して生活ができるように、園内外の環境美化、居室・共有スペース等の消毒、清掃に努めた。

(2) 生活指導

ア 日々の生活を充実させるため、昼の体操、音楽リハビリ、機能回復訓練を実施可能な状況下で励行し、入居者の心身機能の維持向上に努めた。

イ 新聞購読やテレビ鑑賞を楽しんでもらい、ニュースや社会に動き等の情報にふれ、社会性のある生活を送られるよう努めた。また昨年同様、園内の雰囲気をやかにするため、有線放送による軽音楽等を流した。

(3) 健康管理

ア 入居者の高齢化、重度化のなか、常に一人ひとりの健康状態を注意し、嘱託医・看護師・管理栄養士・介護職員の連携を図りながら、疾病の早期発見、予防等健康保持に努めた。

イ ノロウイルス・インフルエンザをはじめ新型コロナウイルスの感染症予防に全職員一致協力し取り組んだ。新型コロナウイルスの感染予防対策として、集団行事の中止や家族の面会制限等を行い集団感染予防対策に努めながら、各ユニットで個別レク、WEB面会を行い入居者の身体面・精神面の低下予防に努めた。

(4) 入居者の介護

ア 入居者が自宅における生活と入居後生活が連続したものとなるよう家庭訪問等で再アセスメント、ケアプランを見直し、より快適な生活ができるように努めた。

イ 給食については、栄養マネジメントを実施し、常に栄養の確保に留意することは勿論、入居者の健康状態や好みに合わせて調理し、適温・適時に配膳し、行事食も適宜配慮して食生活の面から生きがいを高められるよう努めた。

ウ 歯科医師との連携をとりながら口腔ケアを実施し、口腔内の清潔・機能維持に努めた。

エ 入居者の自然な動きに合わせた“滑らせる介護”、入居者の安全な移乗を可能とした“抱えない介護”の提供により入居者に負担のない介護に努めた。

オ その人に合った車椅子を提供することで快適な姿勢で過ごしていただけるように努めた。

(5) 地域社会との交流

ア 在宅で要介護状態の高齢者に対し、ショートステイ事業を行い、心身機能の維持並びに、介護者の身体的・精神的負担の軽減を図るよう努めた。

イ 在宅で心身の虚弱な高齢者に対し、配食サービスを行い在宅高齢者の生活援助に努めた。

(6) 職員の資質の向上

ア 新規採用者に対して新人研修プログラムに沿った指導を行う事で基礎知識の統一に努めた。

イ 職場における腰痛予防対策として福祉用具の利用を促進し、原則として、人が人を持ち上げないための代替策として、リフトの利用や、重心の水平面内での移乗を行うスライディングシートやトランスファボードを利用し、入居者、介護者双方にとって負担のない介護に努めた。

ウ 職場におけるメンタルヘルス対策として、ストレスチェックを実施し職員のストレスの程度を把握し、職員自身のストレスへの気付きを促すとともに、働きやすい職場づくりを進め職員がメンタルヘルス不調とならないように努めた。

(7) 非常災害対策

ア 常に消火設備・避難設備等の点検整備に心がけ、有事に備え入居者の人命尊重を第一に、毎月避難訓練、年2回の消防署立合の総合防災訓練を実施し、防災意識の高揚と協力体制の確立に努めた。

(8) 地域における公益的な取り組み

ア 既存の制度や福祉サービスでは対応が困難で、緊急な対応が必要な生計困難者に対して自立的な社会貢献活動の取り組みとして、生計困難者等の自立を援助するための相談支援活動に努めた。

(9) 感染予防対策

ア 新型コロナウイルス感染症対策として職員の健康観察を行うとともに検温の徹底、1ケアごとのアルコール手指消毒、短期入所者の出入り制限、県外在住者との接触、県外往来時には2週間の自宅待機、マスク着用の徹底等の対策を行い、感染症の持ち込み対策を実施した。

イ **新型コロナウイルス感染症が発生した際の対応をシミュレーションした。感染を最小限に抑えるためには初動が特に大事になってくるので、正確かつ迅速に情報を掌握し、ゾーニングや防護服の対応、関係機関との連携をとれるよう検討した。**

2. 実施状況

令和3年度は新型コロナウイルスの影響により、活動の多くを制限せざるをえない状況となった。

(1) 実施した行事

- ア 月例
- | | |
|--------------------------------|----------------------|
| 誕生会 | (毎月 各ユニット) |
| 理髪の日 | (実施可能な状況下の時) |
| 避難訓練 | (毎月) |
| 課長会議 | (毎月 第3火曜日) |
| 経営会議 | (毎月 第4火曜日) |
| リーダー会 | (毎月) |
| ユニットケア推進委員会 | (毎月) |
| (抱えない介護・水分・排泄・認知症・歩行・園芸・レク・散髪) | |
| 新規採用者職場内研修 | (3日間) 職員採用時 |
| 事故発生防止委員会 | 感染症・食中毒委員会、身体拘束廃止委員会 |

褥瘡対策委員会、医療的ケア対策推進委員会、衛生委員会（毎月随時）
インフルエンザワクチン予防接種（11月）
腰椎検査（3月）夜勤者検診（7月）
ユニット別誕生会、レクレーション、体操

イ 行事

令和3年

- 4月 6日 職員検便（毎月：調理、隔月：直接処遇職員）
- 5月 9日 庄内地区意見交換会
庄内地区社協総会（文書）
- 6月 28日 防災避難訓練
- 29日 生活支援体制整備事業会議（複数回）
- 9月 17日 敬老祭（交流センター内、2ユニット毎）
- 11月 1日 電灯等改修工事（庄内の里、複数回）
- 11月 2日 さんま焼き（庄内の里）
- 11月 12日 コア学園へ講師（介護職員）派遣
- 12月 7日 そば打ち（複数回）
- 12月 27日 もちつき（2ユニット毎）

令和4年

- 1月 11日 初詣（複数回）
- 3月 25日 総合避難訓練

ウ 研修

- 6月 27日 県南ブロック研修会
- 7月 2日 ケアマネジャー更新研修（複数回）
- 3日 実習指導者研修（複数回）
- 12月 15日 復命研修

エ ボランティア

- 12月 11日 都城西高校ボランティア（8名）

オ 実習

- 6月 28日 コア学園実習 2名
- 11月 29日 看護学校実習

(2) 新型コロナウイルス対策として計画したが実施できなかった行事

- ア 月例 音楽リハ（第2・4月曜日）
個別リハ（毎週水曜日）
事業団介護相談員相談（毎月第3木曜日）
喫茶コーナー開設（4月～11月） 毎月ボランティア協力8名程

イ 行事

令和3年

- 4月 花まつり
- 5月 焼肉会（各ユニット）
- 7月 ソーメン流し（各ユニット）
- 8月 ソーメン流し（各ユニット）
花火
- 9月 敬老祭
- 9月 サンマ焼き（各ユニット）
- 10月 庄内地区スポレク大会
庄内地区介護者の集い
運動会
- 11月 庄内ふるさと祭り

1 2月 庄内川一周駅伝参加
ウ 研修
令和3年
5月 福祉の基礎知識習得
6月 排泄ケア
宮崎県衛生管理者等交流会
抱えない介護勉強会（年4回、講師専任作業療法士）
7月 レジオネラ属菌汚染防止対策講演会
キャリアパス中堅
キャリアパス初任者
8月 みやざき安心セーフティーネット事業・相談員
ユニットケア～24H シート
キャリアパスチームリーダー
県南ブロック研修会
9月 介護福祉士会九州大会
1 0月 県南ブロックミニバレー大会
腰痛・転倒災害防止
1 1月 キャリアアップ初級・中級
県南ブロック相談員
ビジネス文書
県南ブロック特養会

令和4年
2月 宮崎県老人サービス研究大会（2名）

エ ボランティア
7月 願心寺婦人部ボランティア
西区六月灯踊りボランティア
1 0月 農業高校ボランティア（40名）

オ 実習
7月 小林秀峰高校
8月 都城高校（3年生 3名）
農業高校インターシップ
都城高校（2年生 2名）
コアカレッジ企業巡見
9月 小林秀峰高校（1名）
1 1月 都城高校（1年生 2名）
令和4年
2月 都城コアカレッジ

3. 職員の状況

R4. 3. 31現在

施設長	副施設長	相談員・ケアマネ	事務職	支援課長	介護職	看護師	清掃・相談補助	栄養士	調理員	嘱託医	計
1	1	3	2	1	45 (7)	4	1	2	8 (4)	2 (2)	70 (13)

() は非常勤職員・嘱託契約数を再掲

4. 月別入居者入退状況

区分	入 居			退 居			月末現在			在所日数	
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	3年度	2年度
4		1	1			0	6	42	48	1491	1414
5		2	2		1	1	6	43	49	1525	1521
6		1	1			0	6	44	50	1497	1500
7			0	1		1	5	45	50	1543	1543
8		1	1		1	1	6	44	50	1544	1536
9	1		1		1	1	7	42	49	1485	1497
10	1	1	2		1	1	8	40	48	1540	1550
11		1	1		1	1	8	40	48	1489	1500
12		1	1		1	1	8	40	48	1538	1541
1			0		1	1	8	40	48	1541	1546
2		1	1		1	1	8	40	48	1367	1390
3		1	1		1	1	8	40	48	1517	1546
合計	2	10	12	1	9	10	84	500	584	18077	18084

5. 在所期間

R4. 3. 31現在

期間	1年未満	1 ～ 5年	5 ～ 10年	10年以上	平均在所期間
男		2	2	3	101.8ヶ月
女	11	20	9	3	47.4ヵ月
計	11	22	11	6	55.0ヵ月

6. 年齢階層別調

R4. 3. 31現在

	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95～99	100～	年齢
男		1	1	2	2	1			最小年齢 74歳9ヶ月
女		1	2	5	7	11	13	4	最大年齢 104歳0ヶ月
計	0	2	3	7	9	12	13	4	平均年齢 90.0歳

7. 要介護状況

R4. 3. 31現在

期間	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	平均
男	0	0	3	3	2	3.9
女	0	0	5	23	13	4.2
計	0	0	8	26	15	4.1

居宅介護支援業所 ケアプランサービスゆうの概況

1 事業の概要

ケアプランサービスゆうでは介護支援専門（ケアマネージャー）6名を配置し在宅での介護支援サービス全過程において自立した質の高い生活が送れるように介護サービス計画書（ケアプラン）を作成しました。

その中で要介護者が最も効率的に保健 医療 福祉のサービスを利用できるように他職種、医療機関とも連携を深めることに努めました。

また、ご家族の悩みを真摯に受け止め共有し安心した在宅生活を支援できるようにサポート・助言を行いました。

コロナウイルス感染拡大に伴い、感染防止を行いながら相談や計画作成、利用調整を要介護者やその家族、各事業所と連携をとり、適切なサービスを利用できるように支援を行いました。

介護支援専門員は要援護高齢者が、その人らしく住み慣れた地域で生きがいを持って生活できるよう専門職としての知識と技術を身につけるよう努めました。

2 主たる業務内容

(1) 在宅介護にかかわる総合的な相談窓口

- ・ 主として自宅へ訪問し相談・助言・指導に努めました。
- ・ 各種サービス事業者、 民生委員 ならびに地域の方からの情報提供を得られるよう努めました。
- ・ 地域の社会資源を発掘・活用し地域との連携を図れるよう配慮しました。
- ・ 包括支援センターと連携を取り困難事例等の受け入れもできる体制を整えました。
- ・ 感染症や災害が発生した場合でも介護サービスが継続的に提供されるように各事業所との連携に努めました。
- ・ 利用者の人権の擁護のため、研修を行い虐待防止に努めました

(2) 指定居宅介護支援事業所として介護保険への取り組み

- ・ 在宅でできる限りその人らしい生活が送れるように、サービスの紹介や自立に向けたケアプランの作成・介護保険認定申請代行など円滑に行えるよう努めました。
- ・ 医療機関・サービス事業所との連携を密にし自宅での自立をめざし支援を行いました。
- ・ 利用者本人だけでなく家族の負担軽減も図れるよう信頼関係構築に努めました。

(3) 主任介護支援専門員を配置し介護支援専門員の知識向上に努め、特定事業所加算の取得を行いました。

- ・ 個別研修計画に沿った研修会への参加
- ・ 週1回程度の事業所内研修の実施
- ・ 24時間連絡体制を整備
- ・ 包括支援センターとの連携、包括からの困難ケースの受け入れ
- ・ 減算のないよう日常業務を実施
- ・ 他法人との合同研修会の実施
- ・ 実習生の受け入れを実施

令和3年度 ケアプランサービスゆう 実績報告

対象月	新規	要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	給付数
4月	4	9	60	41	40	12	10	164
5月	2	9	61	41	37	17	10	161
6月	3	10	57	40	34	13	10	154
7月	9	10	57	43	37	14	10	160
8月	11	9	62	46	40	15	10	172
9月	5	10	61	40	43	14	10	166
10月	10	11	66	40	43	14	9	171
11月	4	11	70	38	39	14	9	168
12月	5	12	68	38	34	13	8	161
1月	11	12	72	40	34	12	7	165
2月	4	13	72	38	33	15	8	167
3月	3	12	70	41	33	16	9	164
合計	71	128	776	486	447	169	110	1973

令和 3年度 居宅介護支援事業所 ケアプランサービスゆう 相談一覧

年月日 担当	A	B	C	D	E	F	小計	
							介護計画	新規受け入れ
令和 3年4月	39+【予防3】	22+【予防0】	1+【予防0】	35+【予防1】	33+【予防3】	36+【予防2】	164【9】	4
5月	31+【予防3】	21+【予防0】	24+【予防0】	31+【予防1】	24+【予防3】	32+【予防2】	161【9】	2
.6月	28+【予防3】	20+【予防0】	21+【予防1】	32+【予防1】	22+【予防3】	32+【予防2】	154【10】	3
7月	29+【予防3】	22+【予防0】	22+【予防1】	34+【予防1】	24+【予防3】	31+【予防2】	160【10】	9
8月	32+【予防3】	23+【予防0】	25+【予防1】	34+【予防0】	24+【予防3】	33+【予防2】	172【9】	11
9月	32+【予防3】	22+【予防1】	24+【予防1】	32+【予防0】	23+【予防3】	35+【予防2】	166【10】	5
10月	29+【予防3】	21+【予防1】	29+【予防2】	32+【予防0】	25+【予防3】	37+【予防2】	171【11】	10
11月	29+【予防3】	20+【予防1】	29+【予防2】	30+【予防1】	24+【予防2】	36+【予防1】	168【11】	4
12月	28+【予防3】	20+【予防1】	30+【予防3】	29+【予防1】	22+【予防2】	32+【予防1】	161【12】	5
令和 4年1月	28+【予防3】	22+【予防1】	29+【予防2】	31+【予防2】	23+【予防2】	32+【予防1】	165【12】	11
2月	28+【予防4】	21+【予防1】	31+【予防3】	32+【予防2】	22+【予防2】	34+【予防1】	167【13】	4
3月	35+【予防4】		35+【予防3】	37+【予防2】	20+【予防2】	38+【予防1】	164【12】	3

小規模多機能型居宅介護 創生館の概況

1 事業の概況

利用者の望む生活の把握に努め、通い・訪問・宿泊のサービスを組み合わせながら、住み慣れた自宅や地域での生活を継続できるようにサービス提供を実施した。

また、新型コロナウイルスの影響により地域行事への参加は十分な取り組みが出来なかったが、地域関係者や地域住民と連絡・連携をとりながら、地域との協力体制の構築やニーズ把握に努めた。

2 主たる取り組み内容

(1) 施設・環境の整備

- ・利用者との信頼関係を構築し、家庭的な環境づくりに努めた。

(2) 介護保険サービスへの取り組み

- ・利用者の心身の状況、希望及び置かれている環境や生活習慣を理解した上で、通い、訪問及び宿泊サービスを柔軟かつ即時的に組み合わせながら、安心して自宅や地域での生活が継続できるように努めた。
- ・利用者がこれまで培ってきた家族や地域との関係性を大事にしながら、一人一人の暮らしに合わせ、居宅サービス計画及び小規模多機能型居宅介護計画の作成に努めた。

(3) 健康管理

- ・一人ひとりの健康状態を注意し、看護師・介護職員等との連携を図りながら、疾病の早期発見、予防等の健康保持に努めた。
- ・主治医との連携を基本としつつ、協力医療機関との連絡・連携を図りながら、緊急時の対応に努めた。

(4) 地域社会との交流、関係づくり

- ・運営推進会議を年6回開催した。新型コロナウイルス拡大防止のため、文書での活動報告や意見交換を実施した。
- ・事業所で実施した自己評価に基づき、運営推進会議にて外部評価を実施した。
- ・庄内地区地域支援会議へ毎月1回参加し、地域の情報、課題の把握に努めた。
- ・地域集会での地域住民に向けて、小規模多機能居宅介護の周知啓発を目的とした研修会を実施した。
- ・庄内小学校と庄内地区まちづくり協議会教育文化活動部会主催の6年生対象キャリア教育にて講話を行った。

- ・第一生命保険株式会社の SDGs 地域緑化推進活動において花の苗の寄付を頂き、利用者、職員で緑化推進活動を行った。

(5) 感染症・非常災害対策

- ・常に消火設備・避難設備等の点検整備を心がけ、年2回の避難訓練を実施し、防災意識を高めることと、協力体制の確立に努めた。
- ・令和3年4月に感染症マニュアルの見直しを行い、感染症予防の徹底を図り、令和3年度は感染者の発生なく運営できた。

令和3年度 年間計画実施状況

小規模多機能型居宅介護創生館

	主要事業	地域連携事業	会議等
4	○新規相談対応、ケアマネジメント ○郊外レクリエーション（花見） ○誕生会	○第1回地域生活支援会議参加（4/6）	職員会議（第2木曜日） 課長会議（第3火曜日）
5	○新規相談対応、ケアマネジメント ○誕生会	○第1回運営推進会議開催（書面開催）	職員会議（第3木曜日） 課長会議（第3火曜日）
6	○新規相談対応、ケアマネジメント ○郊外レクリエーション（あじさい見学） ○誕生会	○第2回地域生活支援会議参加（6/15）	職員会議（第3木曜日） 運営会議（第3火曜日）
7	○新規相談対応、ケアマネジメント ○誕生会	○第3回地域生活支援会議参加（7/13） ○第2回運営推進会議開催（書面開催）	職員会議（第3木曜日） 運営会議（第3火曜日）
8	○新規相談対応、ケアマネジメント ○誕生会	○第4回地域生活支援会議参加（8/10）	職員会議（第3木曜日） 運営会議（第3火曜日）
9	○新規相談対応、ケアマネジメント ○誕生会、敬老会	○第5回地域生活支援会議参加（9/14） ○第3回運営推進会議開催（書面開催）	職員会議（第3木曜日） 運営会議（第3火曜日）
10	○新規相談対応、ケアマネジメント ○誕生会	○第6回地域生活支援会議参加（10/12）	職員会議（第3木曜日） 運営会議（第3火曜日）
11	○新規相談対応、ケアマネジメント ○誕生会 ○郊外レクリエーション（コスモス見学）	○第7回地域生活支援会議参加（11/9） ○第4回運営推進会議開催（集合開催）	職員会議（第2木曜日） 運営会議（第3火曜日）
12	○新規相談対応、ケアマネジメント ○誕生会 ○餅つき（12月23日）	○第8回地域生活支援会議参加（12/14） ○庄内小学校6年生キャリア教育にて講話（12/3） ○第一生命保険株式会社SDGs地域緑化推進活動（12/14）	職員会議（第3木曜日） 運営会議（第3火曜日）
1	○新規相談対応、ケアマネジメント	第9回地域生活支援会議参加（1/11）	職員会議（第3木曜日） 運営会議（第3火曜日）
2	○新規相談対応、ケアマネジメント ○誕生会	第5回運営推進会議開催（書面開催）	職員会議（第3木曜日） 運営会議（第3火曜日）
3	○新規相談対応、ケアマネジメント ○誕生会	第6回運営推進会議開催（書面開催）	職員会議（第3木曜日） 運営会議（第3火曜日）
備考	施設見学、説明随時実施		外部研修 ※別紙研修実施表に基づきリモート研修へ参加

令和3年度 小規模多機能型居宅介護 創生館 実績報告(サービス別)

対象月	新規登録者数	通い【延べ人数】	泊まり【延べ人数】	訪問【延べ人数】	合計【延べ人数】
4月	0	241	93	186	520
5月	0	271	106	183	560
6月	2	234	69	181	484
7月	2	335	118	162	615
8月	3	304	114	128	546
9月	4	389	143	144	676
10月	1	388	149	156	693
11月	0	350	138	146	634
12月	3	345	142	158	645
1月	0	284	148	112	544
2月	0	318	140	126	584
3月	1	384	164	170	718
合計	16	3843	1524	1852	7219

令和3年度 小規模多機能型居宅介護 創生館 実績報告

対象月	新規	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	登録者数
4月	0	0	4	6	3	6	1	0	20
5月	0	0	4	6	2	5	2	0	19
6月	2	0	5	7	2	6	1	0	21
7月	2	1	5	7	2	7	1	0	23
8月	3	1	4	7	3	8	0	0	23
9月	4	1	5	7	5	7	0	0	25
10月	1	1	5	7	6	7	0	0	26
11月	0	1	5	6	5	7	0	0	24
12月	3	3	5	6	6	7	0	0	27
1月	0	3	5	5	5	6	0	0	24
2月	0	1	5	6	7	4	0	0	23
3月	1	1	5	7	7	4	0	0	24
合計	16	13	57	77	53	74	5	0	279

地域包括支援センターの概況

都城市志和池・庄内・西岳地区地域包括支援センター

1、運営方針

高齢者及びその家族が住みなれた自宅で安心してその人らしい生活が送れるように、医療と介護の連携、地域ケア会議の推進、生活支援サービスの充実及び向上を図り地域包括ケアシステムの構築と在宅生活の支援に努めた。

介護保険制度の理念に基づき地域包括ケアの中核として円滑な運営を図り、本人の意思及び人格を尊重して自立した生活ができるよう公共性および地域性ならびに協働性の視点に基づいた事業運営に取り組んだ。

2、事業の概要

(1) 総合相談支援

各分野の専門職を配置し、4職種を中心に地域における問題を総合的に受け止め、問題解決にむけ関係機関と連携を図り継続的かつ専門的な相談支援体制を構築し、地域の福祉相談の中核としての役割を果たせるよう努めた。

(2) 権利擁護

後見制度に関する周知、消費者被害対応、虐待の防止など高齢者の権利擁護の実践に努めた。関係機関とも連携することで、地域の集いへの参加等を通じ啓発活動を行い制度の周知啓発に努めた。

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援

高齢者に対して包括的かつ継続的で適切なサービスが提供されるように、地域ケア会議の開催を通じて、地域団体ならびに専門機関と協働して、地域の多様な社会資源を活用した包括ケア体制の構築に努めた。困難なケースに対して職員間で相談しチーム対応を行った。地域の介護支援専門員からの相談に対し、助言や指導にて後方支援を行った。

(4) 介護予防ケアマネジメント

効率的かつ効果的な介護予防が提供されるよう、適切なケアマネジメントを実施した。介護予防対象者の積極的な把握を行うと同時に、市が推進する地域での介護予防教室（こけないからだ作り講座）の普及・支援に努め、総合事業、予防給付が効率的かつ効果的に提供されるように適切にケアマネジメントを行った。

(5) 認知症地域支援推進事業

認知症地域推進委員会を中心に認知症高齢者の把握と支援体制の構築に努めた。

(6) 自立支援型地域ケア会議モデル地域包括支援センター

都城市より指定を受け、介護保険課及び専門職能団体によるケアマネジメント支援や、先進地派遣研修、他地域包括支援センターへのケアマネジメント支援など、介護保険課と協力し行った。(令和4年度まで)

＜包括＞令和3年度 実績報告

月	相談件数										予防プラン (委託:下段)	こけない 体操教室	多職種連 携会議
	総合相談	権利擁護	包括的・ 継続的ケア マネジメント	介護保険 に関する 事	任意事業	保健医療 認知症	住宅改修	ケア会議 (コア会議 含)	計				
4月	140	7	12	67	34	25	18	0	303	254 94	14	7	
5月	154	11	16	72	25	29	9	0	316	238 86	2	11	
6月	173	15	15	72	28	25	11	1	340	244 90	7	9	
7月	176	7	8	73	29	32	14	3	342	243 87	9	15	
8月	174	5	8	81	35	41	15	1	360	238 85	10	14	
9月	171	15	16	80	35	26	14	0	357	247 96	4	23	
10月	185	28	22	80	36	31	21	1	404	251 98	10	18	
11月	127	7	19	69	29	20	15	0	286	248 96	6	29	
12月	147	8	19	17	33	33	15	0	272	247 100	4	24	
1月	132	6	9	67	32	23	17	0	286	247 98	0	15	
2月	132	6	9	66	38	25	13	0	289	250 98	0	19	
3月	125	8	68	40	21	12	1	0	275	239 98	1	19	
合計	1836	123	221	784	375	322	163	6	3830	2946 1126	81	210	

庄内デイサービスセンター、サテライト西岳の概要

1 事業概要

在宅の要支援・要介護高齢者に、入浴及び給食等の各種サービスを提供し、要介護状態等になった場合においても、その利用者が可能な限り、その居宅においてその有する能力に応じ、自立した日常生活を営むことができるよう、必要な日常生活上の世話及び機能訓練を行う事により、利用者の社会的孤立感の解消及び心身機能の維持、ならびに利用者家族の身体的及び精神的負担の軽減を図ることに留意して、事業を実施した。

(1) 入浴

高齢者に適した湯温管理、在宅生活が維持向上できるよう利用者の心身の状況に応じて、必要な介助を行い身体の清潔保持に心がけた。

(2) 機能訓練・レクリエーション

利用者の心身の特性に応じて日常動作訓練、レクリエーション等を実施し、楽しみながら身体機能の維持向上ができるよう実施した。内容については、全体レクリエーションのほか、個別で実施できる個別運動カードを作成し、自主的に機能訓練を行えるようスタッフ間で協議し、提供した。

(3) 送迎

迎え時に検温を実施し、体調不良の早期発見に努めた。乗車前に発熱が認められる場合には利用を見合わせる判断をした。車内が密にならないよう座席の位置に配慮した。安全運転を心がけ、声かけを行い利用者の安全な乗降に努めた。

(4) 給食

利用者に適した材料と季節の旬の食材を献立に取り入れ、適切な形態の昼食を提供した。厨房内外の衛生管理に注意を払い、食中毒の予防に万全を期した。また、コロナウイルス予防対策として密にならないよう利用者の座席の配慮を行い、アクリルパネルを使用し食事時の飛沫感染を防いだ。

2 健康管理

デイ到着後に再度測定を実施し、バイタル異常や気分不良等の訴えを確認し次第、家族やケアマネジャーに報告を行い対応を行った。県外在住者と接触のあった方の利用は2週間見合わせる判断をした。熱発や体調不良を訴え休まれた方は状況が解消した場合であっても引き続き、ご家族、ケアマネジャーと連絡を取り健康状態に留意した。新型コロナウイルス感染拡大防止のため送迎車や事業所内の接触頻度が高い場所(手すり、机など)の消毒を定時にを行い、事業所内の換気、利用者様同士が密にならないよう、集団での活動は避け、アクリルパネルを活用することにより飛沫感染を防いだ。

3 地域との交流

今年度はコロナウイルス感染拡大防止のため地域との交流は中止した。

4 職員の資質向上

一人ひとりに合った個別ケアを提供し、自宅での生活を継続できるように生活リハビリも含めた支援を行えるように取り組み職員の技術向上を図った。また毎月の職員会議や就業前後のミーティングで情報交換ができる場を設け周知にも努めた。

5 具体的実施状況・利用実績

別紙参照

月例行事	1 誕生会	毎 日	個別カードによる個人予防運動
	2 職員会議 職員研修		通所介護計画実行記録
3 個別援助計画作成	口腔嚥下体操		
4 屋内外清掃	ケース会議		
	5 利用予定カレンダー作成	年 間	嗜好調査、行事移行聴取
	6 スカットボール大会		
随 時	身体測定（身長、体重）		
4月	日替わりレク(脳トレ、ゲーム)・創作活動・郊外レク(桜・花見)		
5月	日替わりレク(脳トレ・ゲーム)・創作レク		
6月	日替わりレク(脳トレ、ゲーム)・創作活動(七夕)・郊外レク(アジサイ)		
7月	日替わり(脳トレ、ゲーム)、創作活動(七夕)、ミニ運動会、夏祭り		
8月	日替わりレク(脳トレ、ゲーム)・創作活動		
9月	日替わりレク(脳トレ、ゲーム)・創作活動・敬老祭・調理レク・スカットボール大会		
10月	日替わりレク(脳トレ、ゲーム)・創作活動・ミニ運動会・郊外レク(秋桜花見)・ミニ運動会		
11月	日替わりレク(脳トレ、ゲーム)・創作レク・調理レク・郊外レク(紅葉)		
12月	日替わりレク(脳トレ、ゲーム)・創作活動・忘年会・ビンゴ大会 クリスマスケーキ作り		
1月	日替わりレク(脳トレ、ゲーム)、絵馬作り、初詣・趣味活動(書初め)・新年会・日替わりレク		
2月	日替わりレク(脳トレ、ゲーム)・創作活動・調理レク・節分		
3月	日替わりレク(脳トレ、ゲーム)・雛飾り・創作活動・郊外レク(桜花見)、喫茶コーナー		

横市デイサービスセンターの概要

1 事業概要

在宅の要支援・要介護高齢者に、入浴及び給食等の各種サービスを提供し、要介護状態等になった場合においても、その利用者が可能な限り、その居宅においてその有する能力に応じ、自立した日常生活を営むことができるよう、必要な日常生活上の世話及び機能訓練を行う事により、利用者の社会的孤立感の解消及び心身の機能の維持、ならびに利用者の家族の身体的及び精神的負担の軽減を図ることに留意して、事業を実施した。

(1)入浴

高齢者に適した湯温管理、浴室内での事故防止に留意し、在宅生活が維持向上できるよう利用者に声かけを行い、洗身、衣類着脱、整容等の入浴動作全般について自律支援を目標に支援が必要の方において、できるだけ可能な範囲で入浴全般の一連の動作に必要な介助を行った。

(2)機能訓練およびレクリエーション

利用者の特性に応じて体調管理を行い、融和を図りながら日常生活動作訓練、身体、脳を使うレクリエーション等を提供し、身体機能の維持向上を目標となるよう工夫した。内容については、密にならない範囲での団体でのレクリエーションのほか、個別に取り組める筋力維持及び低下予防につながる運動内容を提供し、自己選択自己決定できる環境を作った。なお、プログラム内容は3ヶ月おきに見直しを行った。

(3)送迎

送迎時にはコロナウイルス感染予防対策として利用者の状態観察を行い、発熱のある方は利用を見合わせ、県外在住者との接触のある方の利用は2週間見合わせるなどの対策を取った。車内が密にならないよう座席位置に配慮し、安全運転に努めた。

(4)給食

楽しい雰囲気と落ち着いた環境を提供して、利用者に適した材料と季節の旬の食材を献立に取り入れ、個人の体質に合わせた条件を基に、それぞれの要望に応える昼食を提供した。厨房内外の衛生管理に注意を払い、食中毒の予防に万全を期した。また、コロナウイルス予防対策として密にならないよう利用者の座席の配慮を行い、アクリルパネルを使用し飛沫感染を防いだ。

2 健康管理

コロナウイルス感染予防対策として利用者の状態観察を行うとともに検温、一動作ごとのアルコール手指消毒を行い、到着後は体調安定を確認後、血圧、脈拍、体温測定を実施した。一年を通じ、水分補給用の麦茶と経口補水液を提供し、脱水症及び熱中症予防に努めた。利用中急変時、気分不良や体調悪化がみられ次第、看護師と協議をし、ご家族、ケアマネージャーに報告の上、医療機関への搬送等、迅速かつ適切な判断をした。

3 地域との交流

コロナウイルス感染予防対策のため、地域の方々との交流は中止し、近隣の学校・幼稚園関係者との情報交換を行うことにより関係性を維持した。

4 職員の資質向上

職員会議時に、翌月の行事内容の検討、個別に対応するための適切なケアが提供できるかを職員間で情報を共有しながら意見交換を行った。

5 具体的実施状況・利用実績

別紙参照

令和3年度 年間行事実施状況

横浜市デイサービスセンター

月 例 行 事	1 誕生会	毎 日	下肢筋力低下予防運動
	2 職員会議 職員研修		通所介護計画実行記録
随 時	3 個別援助計画作成	年 間	口腔嚥下体操
	4 屋内外清掃		個別運動プログラム
	5 季節の壁画作成		避難訓練(9月、3月)
	6 利用予定カレンダー作成		嗜好調査(2月)
随 時	個別運動プログラム 体重測定 新型コロナウイルス感染予防対策にてボランティアの行け入れ中止		
4月	季節の壁画作成(さくら)・ゲーム(魚釣り) ※コロナ感染対策にて郊外レクは中止		
5月	ダンベル体操・季節の壁画作成(こいのぼり)・スカットボール・タオルゲーム		
6月	こけない体操(ダンベル)・季節の壁画作成(あじさい)・ゲーム(輪ゴム送り)		
7月	七夕飾り作成・園芸(芝ぼうや作り)・シーツバレー季節の壁画作成(花火)		
8月	季節の壁画作成(ひまわり)・ヨーヨー作り(水風船)・夏祭り		
9月	スカットボール・棒体操・季節の壁画作成(十五夜)・脳リハ		
10月	脳リハ・ゲーム(日替わり)・季節の壁画作成(コスモス)・創作活動(キーホルダー)		
11月	陶芸教室・季節の壁画作成(いちょう、もみじ)・選択レク・脳リハ		
12月	クリスマス飾り作成・しめ縄作成・忘年会		
1月	新年会(茶話会)・スカットボール・福笑い・ダンベル体操		
2月	ゲーム(鬼は外)・創作活動(カレンダー土台作り)		
3月	タオル体操・創作活動(桜の木)・頭の体操・ゲーム(日替わり)		

令和3年度 事業別利用人員実績一覧

庄内デイサービスセンター

事業区分	区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
介護保険事業 通所事業	月間利用延人員	386	293	351	338	351	327	354	400	345	354	309	411	4,219	422
	1日平均利用人員	18.1	16.0	16.0	15.4	16.0	14.9	16.9	18.2	18.2	17.7	18.2	18.7	/	17.0
介護予防事業 総合事業	月間利用延人員	114	92	127	134	69	126	120	93	69	91	71	99	1,205	121
	1日平均利用人員	5.3	4.9	5.8	6.1	3.1	5.7	5.7	4.2	3.6	4.6	4.2	4.5	/	4.9
元気アップ 総合事業	月間利用延人員	38	25	36	48	105	64	63	64	59	59	51	64	676	68
	1日平均利用人員	1.8	1.5	1.6	2.2	4.8	2.9	3.0	2.9	3.1	3.0	3.0	2.9	/	2.7
合計	開所日数	21	17	22	22	22	22	21	22	19	20	17	22	247	21
	職員体制	16	16	16	16	11	11	11	11	11	11	12	11	/	13
	1日平均利用人員	25.3	22.4	23.4	23.6	23.9	23.5	25.6	25.3	24.9	25.2	25.4	26.1	/	24.3
	月間利用者総数	538	410	514	520	525	517	537	557	473	504	431	574	6,100	508
	前年度 月間利用者総数	685	530	601	638	508	498	600	589	560	357	485	600	6,651	554

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止による営業休止期間

令和3年4月30日(金) ~ 5月6日(木) (5日間)

令和4年1月31日(月) ~ 2月3日(木) (4日間)

令和4年3月31日(木) (1日間)

横市デイサービスセンター

事業区分	区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
介護保険事業 通所事業	月間利用延人員	174	164	173	174	171	200	167	186	190	143	169	183	2,094	209
	1日平均利用人員	7.9	7.8	7.9	7.9	7.8	9.1	8.0	8.5	9.5	7.2	8.5	8.0	/	8.2
介護予防事業 通所事業	月間利用延人員	42	40	35	59	44	45	49	46	40	34	29	29	492	49
	1日平均利用人員	1.9	1.9	1.6	2.7	2.0	2.0	2.3	2.1	2.0	1.7	1.5	1.3	/	2.0
元気アップ デイ事業	月間利用延人員	41	29	47	29	40	38	35	50	44	30	32	61	476	48
	1日平均利用人員	1.9	1.4	2.1	1.3	1.8	1.7	1.7	2.3	2.2	1.5	1.6	2.7	/	1.8
合計	開所日数	22	21	22	22	22	22	21	22	20	20	20	23	257	21
	職員体制	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	/	7
	1日平均利用人員	11.7	11.1	11.6	11.9	11.6	12.9	12.0	12.8	13.7	10.4	11.5	11.9	/	12.0
	月間利用者総数	257	233	255	262	255	283	251	282	274	207	230	273	3,062	255
	前年度 月間利用者総数	329	266	330	349	314	332	339	308	297	258	283	321	3,726	311

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止による営業休止期間

令和4年1月24日(月) ~ 1月26日(水) (3日間)